

科目名			母子支援看護学特論		
科目責任者	森本 眞寿代	(広域・発達看護学 教授)			
担当者	松浦 祐介	(広域・発達看護学 教授)			
	中村 恵美	(広域・発達看護学 准教授)			
開講時期:	1年次前学期	単位数:	2 単位	時間数:	90分× 15 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>母性・小児およびその家族への健康支援に必要な諸概念や理論、実践方法を科学的に探究し、研究に必要な基礎的能力を養うことができる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <p>1) 母子看護の歴史や変遷および理論、女性のライフサイクル全般にわたる支援方法、周産期看護における母子と家族へのエビデンスのある支援方法を探求し、現状や課題について学ぶことができる。</p> <p>2) 子どもや家族を捉えるための成長・発達、セルフケア、家族関係・家族発達等の諸概念や理論を学び、子どもや家族への支援方法を探求し現状や課題について学ぶことができる。</p>					
● 評価方法	発表 40%、討論 20%、レポート 40%により、総合的に評価する。				
● 参考文献	必要に応じて紹介する。				

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	授業ガイダンス	授業計画および内容	森本
2	母子看護学の概説	母子看護学の歴史と概要	森本
3	母子看護学の対象	母子看護学の対象と母子を取り巻く社会	森本
4	母子看護学の理論と概念(1)	リプロダクティブヘルス/ライツ、ジェンダー	森本
5	母子看護学の理論と概念(2)	愛着理論、母子相互作用、危機・喪失理論、父親・家族の発達理論	森本
6	母子看護学の理論と概念(3)	子ども観の変遷と子どもの権利	中村
7	母子看護学の理論と概念(4)	子どもの成長・発達と主な理論	中村
8	ライフサイクル各期の健康支援に関する文献講読および解説(1)	小児期の子どもと家族を対象とした文献講読(1)	中村
9	ライフサイクル各期の健康支援に関する文献講読および解説(2)	小児期の子どもと家族を対象とした文献講読(2)	中村
10	ライフサイクル各期の健康支援に関する文献講読および解説(3)	成熟期を対象とした文献講読	松浦
11	ライフサイクル各期の健康支援に関する文献講読および解説(4)	更年期を対象とした文献講読	松浦
12	ライフサイクル各期の健康支援に関する文献講読および解説(5)	老年期を対象とした文献講読	松浦
13	母子看護学領域のEBM探究(1)	Evidence Based Medicine/Nursingの手法(1)	松浦
14	母子看護学領域のEBM探究(2)	Evidence Based Medicine/Nursingの手法(2)	森本
15	まとめ	自己の研究課題の検討とまとめ	森本